

## 産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数 (ア)	評価対象外地区数 (イ)	評価対象地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】 評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
熊本県	46	29	17	62.0	7	有	7	<p>本県において今回の事業評価対象となった17地区のうち、10地区が成果目標を達成(達成率100%)しており、当該事業の実施が産地の生産力の向上に繋がっている。</p> <p>しかし、成果目標が未達成となった残る7地区については、今後ヒアリング等を実施し未達成要因を分析するとともに、関係機関と連携しながら、品値向上や収量増加に向けた指導及び成果目標達成に向けた取組の推進を図っていく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し62%であり、目標は達成されていない。</p> <p>このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け要因分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、熊本県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は、7地区である。</p> <p>〈参考:成果目標未達成地区の概要〉</p> <p><b>【野菜】4地区</b> 令和4年度の評価対象の11地区のうち、目標達成している地区は3地区、未達成が4地区となっている。販売額の増加が未達成となった4地区の主な要因は、2地区(キャベツ、カリフラワー等)は、新型コロナウイルスの影響により外食等の需要量が減少したことや労働力不足による栽培面積を縮小したことによる、2地区(トマト)は定植時の高温及び厳寒期の寒波等による品質及び収量が低下したことによる未達成である。</p> <p><b>【花き】1地区</b> 令和4年度の評価対象の1地区は、目標未達成となっている。販売額増加の目標が未達成となった1地区の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減退により花きの作付けが減少したことや病害虫の発生等により、出荷本数が少なかったことによる未達成である。</p> <p><b>【米】2地区</b> 評価地区の2地区において、どちらの地区も台風の影響で品質・単価ともに低下している。また加えて1地区については作付け面積が著しく伸び悩んだ。これらの要因から販売額の目標について未達成となった。</p>

※小数点第1位まで記載する